



千葉県議会議員 佐倉市・酒々井町選出

入江あき子

2025年
県議会報告
秋号

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

いのちと暮らし、守り抜く ―― 当事者の声を政策につなげます ――

※注 東京商工リサーチの公表（今年7月）では、2025年上半期の倒産件数は過去最多の45件、通期で100件超の見通し。

会派代表質問 県は、訪問介護事業所への支援をどのように行っているか。

訪問介護を支える
増え続ける
事業所の休廃止

2024年度の基本報酬引下げやヘルパー不足による利用者減の影響で、訪問介護事業所の売上不振が続いています。2025年上半期の倒産件数が過去最多となり（※注）、このままでは地域包括ケアの基盤が揺らぎかねません。

入江 県内の訪問介護事業所における休止・廃止の状況はどうか。

高齢者福祉課長 事業所への事前アンケート結果を踏まえ、県内の約1700事業所のうち約180事業所を想定している。

入江 県内の訪問介護事業所における休止・廃止の状況はどうか。

高齢者福祉課長 令和6年度に新たに休止になった事業所の数は

いくのか。

知事 訪問介護事業所は比較的小規模な事業所が多く、人材確保や経営の安定化が大きな課題だ。県は、経験の浅いホームヘルパーに対する同行指導への経費助成や、コンサルタントの巡回支援を実施する予定。また、介護報酬の臨時改定等の措置を速やかに講じるよう、国に要望している。

入江 ホームヘルパー同行支援経費補助については、どの程度の事業所を支援していくのか。

高齢者福祉課長 事業所への事前アンケート結果を踏まえ、県内の約1700事業所のうち約180事業所を想定している。



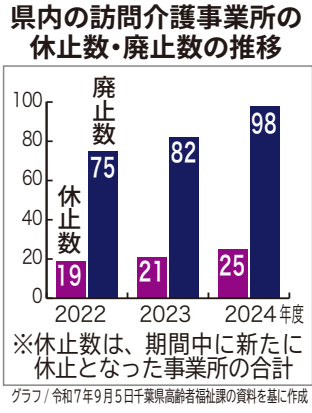
「地域包括ケアシステム」（住まい・医療・介護・予防・生活支援の一体的提供）が進められています。その一方で、訪問介護の人手不足や経営難、将来の保健医療分野を担う高度人材の育成など、課題は山積みです。

9月議会では、訪問介護の事業継続と人材確保、保健医療分野のトップリーダー育成について、代表質問と常任委員会でも取り上げました。 答弁要旨はこちらから→



2025年度9月議会
一般会計補正予算
78億9300万円

9月定例県議会（9/5～10/3）
訪問介護への緊急支援
保健・医療の
トップリーダー育成



入江 立憲民主党は、深刻な影響が生じている訪問介護事業者への緊急の支援金支給と2026年4月の期中改定での基本報酬の引上げを国に要請している。千葉県からも国への臨時改定の働きかけを継続してほしい。在宅生活を支え

県内の訪問介護事業所の
休止・廃止の状況

圏域	事業所数 (R7.8.1時点)	休止数(割合) (R6.4.1～R7.3.31)	廃止数(割合) (R6.4.1～R7.3.31)
千葉県	1675	25 1.5%	98 5.9%
印旛	154	6 3.9%	11 7.1%
取組地区 香取・長生・山武・夷隅	75	0 0%	8 10.7%
安房	155	2 1.3%	13 8.4%
市原	46	2 4.3%	3 6.5%
市原	90	2 2.2%	6 6.7%

表 / 令和7年9月22日千葉県高齢者福祉課の資料を基に作成

また、今年8月1日時点で、ゼロ事業所は芝山町、1事業所は、6町（神崎、睦沢、白子、長柄、長南、御宿）となっている。

高齢者福祉課長 休止は、安房→印旛→市原圏域の順で高く、廃止は、香取海匝→山武長生夷隅→印旛圏域の順で高い（表参照※）。

25件、廃止となった数は98件。また、県内事業所数に占める休止数の割合は1.5%、廃止数の割合は5.9%（令和7年8月1日時点）。

入江 県内9圏域のうち、休止・廃止の割合が高いトップ3は具体的にどこか。また、訪問介護事業所が「全くない」「1か所しかない」自治体の状況はどうか。

「栄養」「歯科衛生」「リハビリテーション」の4領域のほか、「ヘルスサイエンス」領域を修士課程に設置する検討を進め、将来的には、大学教員の養成等を見据えた博士課程を設置することも計画している。

知事 保健医療大学は、複数の職種の学科を設置し、多職種連携を学びやすいという強みを持つことから、高度・専門人材の育成やシンクタンク機能等を備えた大学院を設置することで、複雑な保健医療課題の解決に向けた実践的な研究や、現場経験者の学び直し・スキルアップ等の社会的ニーズに応えることができる。具体的な大学院の構成としては、学部を基礎とする「看護」「栄養」「歯科衛生」「リハビリテ

会派代表質問 大学院の設置について、県の考え方と今後の進め方

千葉県立保健医療大学は、県立衛生短期大学、県医療技術大学校を再編し、2009年に開学。会派として、老朽化した幕張・仁戸名の両キャンパスを何度も視察し、「ワンキャンパス化」による施設の再整備、教育プログラムの再編成や大学院設置の必要性を訴え、大学の将来の在り方検討に早急に着手すべきと一貫して提言してきました。

昨年度、ようやく「保健医療大学の機能強化に向けた調査検討」が行われ、今年5月有識者会議の結果報告書が示されました。

県立保健医療大学
「大学院設置」で
トップリーダー育成

る土台としての訪問介護サービス



高年齢人口の増加や保健医療にかかわるニーズの多様化に対応するため、現場を担うトップリーダーの育成は喫緊の課題です。保健医療大学における他職種連携の学びを大学院で発展させ、現場人材の学び直しや研究成果の地域還元を担う体制づくり（シンクタンク機能）を充実させていくことが期待されています。大学との協議を深め、早期の具体化を求めました。

副知事 公衆衛生分野における専門知識とスキルを持ち、保健医療の国際化に対応しつつ、研究成果を地域に還元できるリーダー人材を育成することを特色として打ち出していきたい。先行事例などを研究し、より優位性が高く学生に選ばれる専攻課程となるよう取り組んでいく。

会派代表質問 千葉県立保健医療大学は、全国の保健医療系の都道府県立大学の中で、唯一大学院を持っていない。神奈川、静岡といった近隣の公立大学においては、すでに「公衆衛生大学院」が設置されている。新たに設置する「公衆衛生大学院」では、どのような特色や優位性を打ち出していくのか。

あなたとの対話を形に

ねばり強さと行動力で 政策実現!

児童虐待を防ぐ 子育て家庭の支援強化

こどもの命と尊厳を守るため、
これらの事業を
全県に広げていくよう
求めました。

県は、来年度に印旛児童相談所(印西市)と東葛飾児童相談所(松戸市)を新設予定です。同時期に柏市や船橋市での児童相談所新設も見込まれ、児童指導員等の専門職の確保が大きな課題となっています。

一時保護所の過密化解消は急がなければなりません。県が6月補正予算で市町村の取組に上乗せ補助した「ちば家庭養育強化事業」の進捗について、常任委員会で質問しました。

今年9月時点の実施状況は、次の通りです。

①子育て短期支援事業:佐倉市含む28市町村

保護者の疾病その他の理由でこどもを家庭で養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行う

②子育て世帯訪問支援事業:佐倉市・酒々井町含む24市町村

家事・子育て等に不安・負担を抱えた家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を訪問支援員が訪問し、家事・子育て等を支援することで虐待リスクを未然に防ぐ

③児童育成支援拠点事業:1市町村

養育環境等に課題を抱える児童の居場所を開設し、学習のサポート、進路等の相談支援、食事の提供などを行うとともに、個々の児童を包括的に支援する

④親子関係形成支援事業:11市町村

児童との関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者やその児童に対し、講義やグループワーク、ロールプレイ等を通じて、適切な親子関係を築けるように相談助言を行う

2026年度新設予定(仮称)印旛児童相談所



イメージ図/千葉県HPより抜粋 外観



ホール(児童相談所待合)

建設地:印西市牧の原
交通:北総線印西牧の原駅から徒歩10分程度
延床面積:約4,850平方メートル
一時保護児童定員:34名

県立病院 ハラスメントを防ぐ 研修・相談・復職支援の強化

今年3月病院局が実施した「職場における職員間のハラスメントアンケート調査」の結果では、対象者約3300名の約40%に当たる1333名から回答があり、「過去3年間でハラスメントを受けたと感じたことがある」という職員は34.3%。知事部局の同様の調査と比較すると、高い傾向となっています。(表参照)

入江は、県立病院の職場でハラスメントを受けてメンタルを病み、長期療養を余儀なくされている職員から相談を受け、長期休職者の実態を調査しました。直近3年間を見ると、1年間に70名を超える職員が休職、うち20~30名が退職という深刻な状況です。

常任委員会では、今後の対策として、①ハラスメント防止研修の充実 ②相談窓口の強化 ③休職から復職に向けたサポート体制の充実などを求め、病院局長を先頭に、現場任せにしない全庁的な再発防止、ハラスメント根絶に向けた取組を早急に進めるよう強く要請しました。

病院は、心身とも非常に負荷の高い職場です。命と向き合う職場だからこそ、互いを尊重できる環境づくりが大切です。引き続き、着実な対策の実施を確認していきます。

職員間のハラスメントアンケート調査結果

過去3年間ハラスメントを受けたと感じたことがあると回答した職員の割合

	パワハラ	セクハラ	マタハラ等
病院局	457名(34.3%)	423名(31.7%)	84名(6.3%)
知事部局	1793名(21.7%)	1599名(19.3%)	328名(4.0%)

入江あき子事務所

〒285-0846 佐倉市上志津 1621-8 (2階)
電話/043-420-8758 fax/043-420-8759
mail/akiko.machi3@gmail.com

いのちと暮らし、守り抜く

詳しくはこちらをご覧ください

入江あき子サイト <https://irieakiko.jp/>



9/25
健康福祉常任委員会での
入江の質疑

詳細はQRコードで
ご覧になれます→



健康福祉部

◆議案第1号令和7年度一般会計補正予算

訪問介護等サービス提供体制確保支援事業について

◆諸般の報告・その他

ちば家庭養育強化事業について

病院局

◆諸般の報告・その他

1)各DPC病院における医業収益増の取組について

2)県立病院でのハラスメント防止
精神疾患による長期療養職員への対応

12月定例議会の予定

開会11/20~
閉会12/17

代表・一般質問 11/27、28、12/1~5

入江あき子が一般質問します
(日時は分かり次第サイトに掲載予定)

常任委員会 12/9~12

10/3 令和8年度予算制度要望 知事と手交
次年度に向けた重点項目を提出

まずは現場へ!

活動報告



9/26 酒々井ハーブガーデン



9/23 (株)常磐植物化学研究所主催・佐倉サイエンスアカデミー参加



10/13 千葉県立保健医療大学いずみ祭



↑8/8幕張メッセ「夏のさつまいも博」



9/17 盲導犬を普及させる会と懇談→



9/4 会派県内視察(左/かずさアカデミアパーク・右/クルックフィールズ)



9/2 県立中央博物館



10/1 幕張メッセ「メディカルジャパン」千葉県出展ブースにて



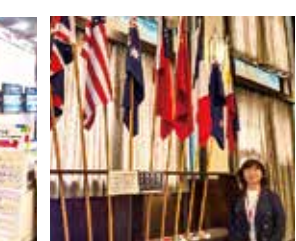
10/6 防衛省視察



10/6 防衛省視察



10/6 防衛省視察



10/6 防衛省視察

プロフィール

1965年
宮城県仙台市生まれ
1988年
国際基督教大学(ICU)
教養学部社会科学科卒業
2003年4月~
佐倉市議会議員
2011年4月~
千葉県議会議員

現在

千葉県議会議員 4 期目
健康福祉常任委員会委員
会派「立憲民主党千葉県議会議員会」副会長
立憲民主党千葉県連副代表
連合千葉議員団会議所属
千葉県地方自治研究センター所属
千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
千葉県議会不登校児童生徒の教育機会確保・支援推進議員連盟
全国災害ボランティア議員連盟所属